



保証書

この度は、HID Lighting UNITをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品は高度の品質管理を行っていますが、万一不具合が生じた場合は、本保証書にしたがって1年間の保証を行わせていただきます。

1.保証書

保証書は必ず「お買い上げ年月日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管して下さい。記入なき場合、保証期間であっても有償とさせていただきます。

2.保証期間中の修理

保証期間中は内部機構を触らずに、お買い上げの販売店にお申し付け下さい。保証書の記載内容により、無償修理致します。取扱説明書に従った正常な使用状態の元で故障した場合は無償修理又は交換いたします。

3.保証期間が切れている時は

保証期間が切れている時は、お買い上げの販売店にご相談下さい。修理により使用出来る場合は、お客様のご要望により有償修理致します。

4.修理依頼される時は

修理を依頼される時は、下記の事項を確認し、お買い上げの販売店又は弊社にご相談下さい。

- ①商品名、品番、製造番号
- ②故障の内容（どの様な症状なのか、いつ頃から等出来るだけ具体的に詳しくお知らせ下さい。）
- ③お買い上げ年月日及び販売店名
- ④お客様のお名前、ご住所連絡先等

5.アフターサービスについてご不明な場合

修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店又は弊社にご相談下さい。

※故障・誤動作により本製品が使用出来なかった事による付随的損害（代品貸し出し等も含む）の保証につきましては弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

6.HIDバルブ・セラミックチューブを破損しますと保証対象外となります。

車両情報	車種名	年式		型式
品番		保証期間	お買い上げ年月日から1ヵ年	
販売店名	〒			
TEL				

無効

Bullcon®

販売元 **フジ電機工業株式会社**

本社 〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目6番16号
TEL 06-6358-4409(代) FAX 06-6358-1880

春日工場 〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村530
(ISO9001取得) TEL 0795-74-2177 FAX 0795-74-2187

<http://www.fuji-denki.co.jp>



取扱説明書

この度は、HID Lighting UNITをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活用して頂く為に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。この取扱説明書は必ず大切にお手元に保管して下さい。

Bullcon®

安全上のご注意

ご使用の前にこの安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他人の方々への危害や損害を未然に防止するために、色々な注意事項を表示しております。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。その表示の内容は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

 注 意	指定以外の電圧では使用しないで下さい。この機器はDC12V・マイナスアース車専用です。火災・感電・故障の原因となります。
	電源コードを傷つけないで下さい。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや加熱加工など加えないようご注意下さい。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を取り付ける際、電源の極性（＋・－）を間違えないよう注意して下さい。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を取り付ける際、電源側（＋12V）のコードが車体の金属部分に触れないようご注意下さい。火災・感電・故障の原因となります。
	分解したり、改造したりしないで下さい。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品に水が入らないようにして下さい。万が一水が入った場合は、電源を抜いてからお買い上げの販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	煙が出る、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止し直ちに電源を抜いて安全を確かめてから修理をご依頼下さい。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を取り付け、配線、使用方法を間違うと車両の装置、機器類を破損又は損傷する恐れがあり、火災・感電・故障の原因となります。

目 次

■目次	1
■安全上のご注意	2
■取り付け上のご注意	3
■ご使用上のご注意、HIDバルブの長所、HIDバルブの点灯確認、	4
走行中に不点灯になった場合の点検	
■H1・H3/H3C・HB3/HB4・H7タイプの構成、取り付け手順	5
■H1・H3/H3C・HB3/HB4・H7タイプの取り付け手順	6
■H4 Hi/Lowタイプの構成、取り付け手順	7
■H4 Hi/Lowタイプの取り付け手順	8
■点灯の確認	9
■アフターサービスについて	10

取り付け上のご注意

取り付け作業を安全かつ確実に行う為、必ずこの注意事項はお守り下さい。
作業をはじめる前に必ず下記事項を確認し十分に理解をした上で、正しい取り付けを行って下さい。又、作業時に配線や接続の為にコードを切断したり製品を加工されますとクレームの対象外となりますのでご注意下さい。

 注 意	車両部品を取り外して作業を行う場合は、その車両の車両整備解説書を参照して下さい。取り付けの際には必ずテスターを使用し、検電器は使用しないで下さい。
	車両のバッテリーが弱っている状態及び、車両本来の機能に不備がある場合には本製品を取り付け又は使用しないで下さい。
	車両ごとの取り付け資料・情報に関するサポートは行っておりませんのでご了承下さい。
	本製品の取り付けには、取り付け技術のある販売店で行って下さい。
	本製品の取り付けは必ずエンジンを停止した状態で行って下さい。火災・感電・故障・事故の原因となる恐れがあります。
	運転の差し支えになるような配線は行わないで下さい。事故の原因となる恐れがあります。
	配線の接続には、分岐タップ等を使用しないで下さい。接触不良による事故の原因となる恐れがあります。
	配線後は必ず絶縁処理を行って下さい。接触不良による火災・感電・故障・事故の原因となる恐れがあります。
	本製品を取り付けする際は、他の機器に影響を与えない場所及び運転に差し支えない場所に設置して下さい。本製品が正常に作動しなかったり、車両機器に影響を与える恐れがあります。
	車両構造上一部車種で取り付けができない場合があります。
	外国車へのサポートは行っていません。
	ショート事故防止の為、必ずバッテリーの⊖端子を外して下さい。
	ハーネスは強く引っ張らないで下さい。コネクター外れや断線の原因になります。
	ハーネスやリード線は、結束バンドやビニールテープ等で固定し、結束バンドの余り部分は切断して下さい。
	裏側のハーネスを引っかけたり、かみ込んでボルト・ナットを付けないで下さい。
	コネクターはリード線を引っ張らず、コネクター本体を持って必ずロックを外して下さい。

ご使用上のご注意



注 意

不具合が発生した場合は、直ちに使用を中止しお買い上げの販売店にて製品に異常が無い事を確認して下さい。発煙、発火などの二次災害が発生する事があります。
使用前に光軸がズれていないか点検、調整を行って下さい。
エンジンがかかっていない時に点灯しないで下さい。バッテリー上がりを起こす可能性があります。
ハイビーム・ロービームの切り替え及びパッシングを連続して行なわないで下さい。
坂道等で駐停車時、対向車への眩惑となる場合は消灯して下さい。
ヘッドランプを点灯したままや消灯直後の洗車はおやめください。
本製品に水が入らないようにして下さい。万が一、水が入った場合は、電源を抜いてからお買い上げの販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
ヘッドランプ点灯時にラジオ等にノイズが入る事があります。
車両のバッテリー電圧が低下した場合、正常に点灯しない場合があります。
洗車の際、イグナイター、バラスト等に水がかからないようにして下さい。

HIDバルブの長所

明るさはハロゲンバルブの約2倍、消費電力も35ワットで約半分のパワー節約、さらに約5倍の長寿命なので優れた経済性も発揮します。雨の日や夜の暗い道での走行にも、より良好な視界が確保でき、特に夜間走行時目の疲労も軽減し、安心して運転が出来ます。

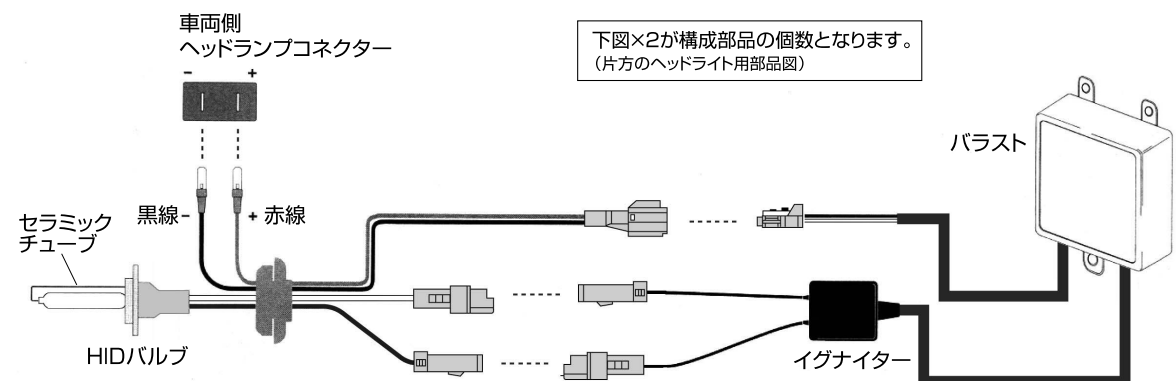
HIDバルブの点灯確認

- 1.正式に配線をする前に必ず、HIDバルブ、Hi/Lowコントローラー（H4タイプ）、バラスト等を簡易接続し最後にバッテリー端子に⊕ ⊖ を接続して点灯の確認をして下さい。
- 2.この時にあらかじめ配線の取り回しが出来るかを必ず確認しておいて下さい。
※点灯しない場合はお買い上げの販売店又は弊社にご相談下さい。

走行中に不点灯になった場合の点検

- 速やかに車を路肩に寄せるなど安全の確保をして下さい。ヘッドランプスイッチをOFFにして、しばらく時間をおいてから再度ヘッドランプスイッチをONにして点灯させて下さい。
- 上記の行為を行いその後正常に戻ればバラストの安全回路が作動した事によるもので、そのまま使用されても問題はありません。
- 症状が改善されない場合や他のトラブルが発生した場合は、車を駐車設備のある所へ速やかに移動し取り付け店にご相談下さい。

H1・H3/H3C・HB3/HB4・H7タイプの構成



構成部品

No.	品名	個数	No.	品名	個数
1	HIDバルブ	2	5	バラスト用両面テープ	2
2	バラスト	2	6	イグナイター用両面テープ	4
3	結束バンド 15cm	5	7	バラスト用ビス	6
4	結束バンド 20cm	5	8	ゴムキャップ	2

H1・H3/H3C・HB3/HB4・H7タイプの取り付け手順

取り付け作業は、右(左)のヘッドランプ同様に行ってください。

①取り付け前の確認

お取り付けの前にHIDバルブ・セラミックチューブが破損していない事を確認して下さい。点灯不良の原因となります。万が一、破損していた場合はお買い上げの販売店にご相談下さい。
※お取り付け後の破損に関しては保証の対象外となります。
※H1・H7タイプは車種によりオプション(別売)のアダプターが必要です。適合表をご確認下さい。

②ヘッドランプ本体の脱着

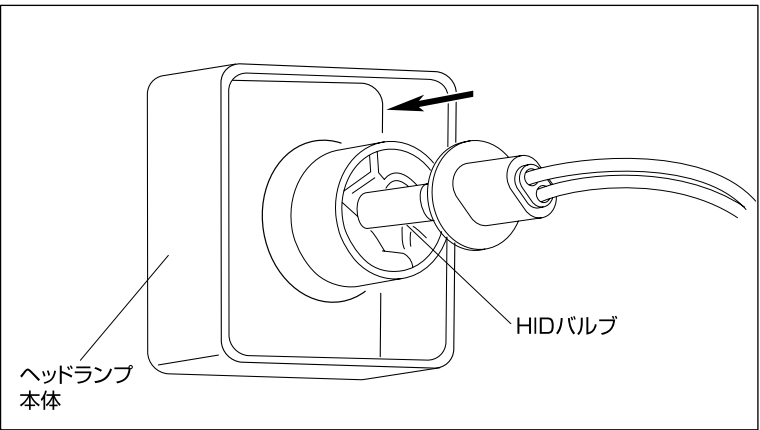
車両からヘッドランプ本体を取り外して下さい。車両ごとの整備解説書をご参照下さい。
作業スペースが十分に確保出来る場合にはヘッドランプ本体を脱着しなくても差し支えありません。

③HIDバルブの取り付け

既存のバルブが冷めている事を確認の上、取り外して下さい。ヘッドランプ本体へHIDバルブを取り外した逆の要領で取り付けて下さい。この時HIDバルブ(ガラス部分)は手で触れないで下さい。手の油分や埃が付くと球切れの原因になります。油分等が付いた場合は速やかにアルコールを柔らかい布等に含ませ十分に拭き取って下さい。又セラミックチューブを破損しないように注意して下さい。お取り付け後の破損に関しては保障の対象外となります。ヘッドランプ本体内のシェード(遮光板)にHIDバルブの先端が当たっていないか確認して下さい。HIDバルブを取り付けたあとの後方スペースが確保されているか確認して下さい。接続ケーブルと接続する前に必ずもとと車に付いているゴムキャップを通して置いて下さい。車種により既存のバルブカバーが樹脂で出来ていてなおかつHIDバルブの後方部分が通らない場合はドリルで直径25ミリの穴を開けて下さい。その場合は付属のゴムキャップをご使用下さい。取り外したハロゲンバルブは緊急対応用として車内に保管しておいて下さい。

H1・H3/H3C・HB3/HB4・H7タイプの取り付け手順

HIDバルブの先端がシェードにあたらない事を確認して下さい。
点灯不良の原因になります。



HIDバルブのセラミックチューブとリフレクターが干渉する場合、リフレクターの干渉する部分を切削して下さい。
※セラミックチューブ等の破損には十分ご注意ください。

③バラストの取り付け

HIDバルブとバッテリー間で配線が届く範囲で取り付け位置を設定し両面テープでボディに直接貼るか結束バンド又はビスで固定して下さい。車体が高温になりやすい部分や水がかかりやすい部分を避けて下さい。

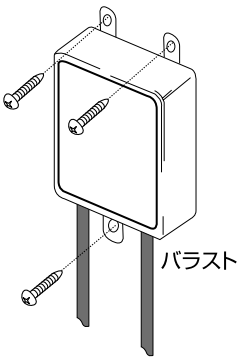
④カプラーの接続

最後にHIDバルブ、バラストを接続ケーブルに接続します。この時それぞれのカプラーが決まっていますので合わないものを無理に押し込んだ場合に破損する場合があります。十分にご注意下さい。

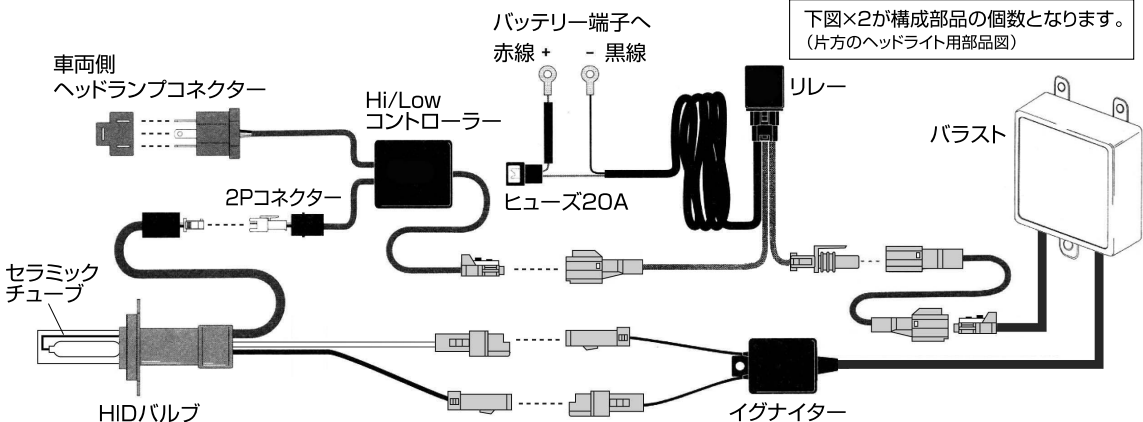
⑤車両側のヘッドランプ用ヒューズ(ロービーム側)が15A以上のものが使われているか必ず確認を行って下さい。

※15A以下の場合は15A(最大20A)へ変更してから点灯を行って下さい。

⑥全ての作業が終了しましたら【P9】の「点灯の確認」に進んで下さい。



H4 Hi/Lowタイプの構成



構成部品

No.	品名	個数
1	HIDバルブ	2
2	バラスト	2
3	リレーユニット	2
4	ゴムキャップ	2
5	結束バンド 15cm	5

No.	品名	個数
6	結束バンド 20cm	5
7	バラスト用両面テープ	2
8	イグナイター用両面テープ	4
9	バラスト用ビス	6

H4 Hi/Lowタイプの取り付け手順

取り付け作業は、右(左)のヘッドランプ同様に行ってください。

①取り付け前の確認

お取り付けの前にHIDバルブ・セラミックチューブが破損していない事を確認して下さい。点灯不良の原因となります。万が一、破損していた場合はお買い上げの販売店にご相談下さい。

※お取り付け後の破損に関しては保証の対象外となります。

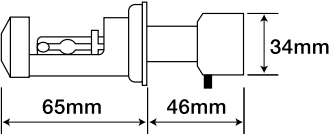
①ヘッドランプ本体の脱着

車両からヘッドランプ本体を取り外して下さい。車両ごとの整備解説書をご参照下さい。
ヘッドランプ本体の後方スペースが46mm以上ある事を確認し取り外して下さい。

作業スペースが十分に確保出来る場合にはヘッドランプ本体を脱着しなくても差し支えありません。

②HIDバルブの取り付け

既存のバルブが冷めている事を確認の上、取り外して下さい。ヘッドランプ本体へHIDバルブを取り付けて下さい。HIDバルブからH4ベースを取り外しヘッドライト本体に取り付けます。ヘッドライト本体にシェード(遮光板)が付いている場合は、H4ベースのシェード(遮光板)を外し取り付けて下さい。純正防水ゴムキャップにHIDバルブを差し込みH4ベースと接続します。この時、セラミックチューブを破損しないように注意して下さい。ヘッドランプ本体内のシェード(遮光板)にHIDバルブの先端が当たっていないか確認して下さい。HIDバルブ(ガラス部分)は手で触れないで下さい。手の油分や埃が付くと球切れの原因になります。油分等が付いた場合は速やかにアルコールを柔らかい布等に含ませ十分に拭き取って下さい。HIDバルブを取り付けたあとの後方スペースが確保されているか確認して下さい。車種により既存のバルブカバーが樹脂で出来ていてなおかつHIDバルブの後方部分が通らない場合はドリルで直径25ミリの穴を開けて下さい。その場合は付属のゴムキャップをご使用下さい。取り外したハロゲンバルブは緊急対応用として車内に保管しておいて下さい。



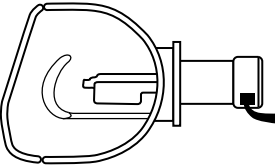
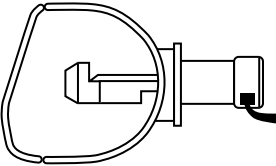
H4 Hi/Lowタイプの取り付け手順

1.純正シェード無し車両への取り付け

HIDバルブをそのままヘッドランプに装着して下さい。

2.純正シェード付き車両への取り付け

HIDバルブのフード取り付けビスを+ドライバーで取り外し、フードを取り外してヘッドランプに装着して下さい。

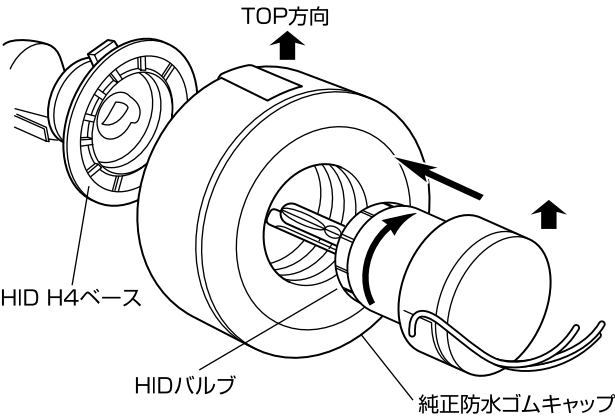


3.HID H4ベースの取り付け

ヘッドライトユニットに取り付けて下さい。

4.純正防水ゴムキャップの取り付け

HIDバルブに純正防水ゴムキャップを通してからHID H4ベースと接続して下さい。
セラミックチューブ等破損に注意して下さい。



③Hi/Lowコントローラーの取り付け

HIDバルブからの配線が届く範囲でHi/Lowコントローラーを両面テープでボディに直接取り付けて固定して下さい。車体が高温になりやすい部分や水がかかりやすい部分を避けて下さい。

④バラストの取り付け

HIDバルブとバッテリー間で配線が届く範囲で取り付け位置を設定し、両面テープでボディに直接貼るか結束バンド又はビスで固定して下さい。車体が高温になりやすい部分や水がかかりやすい部分を避けて下さい。

⑤カプラーの接続

最後にHIDバルブ、Hi/Lowコントローラー、バラストを接続ケーブルに接続します。この時それぞれのカプラーが決まっていますので合わないものを無理に押し込んだ場合に破損する場合があります。十分にご注意下さい。

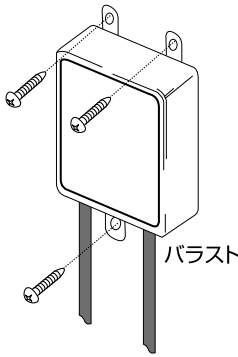
⑥車両側のヘッドランプ用ヒューズ15A以上のものが使われているか必ず確認を行って下さい。

※15A以下の場合は15A(最大20A)へ変更してから点灯を行って下さい。

⑦リレーハーネスの取り付け

リレーハーネスは防水構造になっておりません。洗車などにより水や泥水がかからない場所にコネクター(配線側)を下向きにして両面テープと結束バンドで固定して下さい。逆さまや横向きに固定しますと水分の浸入により故障の原因となります。

⑧全ての作業が終了しましたら【P9】の「点灯の確認」に進んで下さい。



点灯の確認

全ての作業が終了したらHIDバルブの点灯確認をして下さい。

エンジンをかけてヘッドライトスイッチをONにするとHIDバルブが点灯します。

この様な場合は故障ではありません。

●点灯後にHIDバルブの発光色が変化する…

HIDバルブの特性上点灯直後は発光色が変化します。

※しばらくすると発光色は安定します。

●左右の発光色が違う…

製品の特性上多少の差が出る場合があります。

※明らかに発光色が違う場合はお買い上げの販売店又は弊社にご相談下さい。

●点灯時バラストから音がする…

電圧を制御している音ですので異常ではありません。

●ハイビームインジケータランプが点灯しない…

車種によりハイビームインジケータランプが点灯しません。

車の走行に支障ありませんがHIGHの状態かLOWの状態か目視にて確認をしてからお乗り下さい。

●光軸がずれていないか…

HIDバルブを装着した場合にずれる事があります。この場合はお買い上げの販売店に光軸の調整をしていただいて下さい。

上記以外のご質問等がございましたら、お買い上げの販売店又は弊社にご連絡下さい。

アフターサービスについて

1.保証書

保証書は必ず「お買い上げ年月日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管して下さい。記入なき場合、保証期間であっても有償とさせていただきます。

2.保証期間中の修理

保証期間中は内部機構を触らずに、お買い上げの販売店にお申し付け下さい。保証書の記載内容により、無償修理致します。

3.保証期間が切れている時は

保証期間が切れている時は、お買い上げの販売店にご相談下さい。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有償修理致します。

4.修理依頼される時は

修理を依頼される時は、下記の事項を確認し、お買い上げの販売店又は弊社にご相談下さい。

- ①商品名、品番、製造番号
- ②故障の内容(どのような症状なのか、いつ頃から等出来るだけ具体的に詳しくお知らせ下さい。)
- ③お買い上げ年月日及び販売店名
- ④お客様のお名前、ご住所連絡先等

5.アフターサービスについてご不明な場合

修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店又は弊社にご相談下さい。

※故障・誤動作により本製品が使用出来なかった事による付随的損害(代品貸し出し等も含む)の保証につきましては当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

6.無償保証規定

- ①本製品は高度の品質管理を行っておりますが、保証期間中に取扱説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い無償にて交換又は修理させていただきますので、お買い上げの販売店又は弊社まで保証書を添えてお申し出下さい。
※保証書のない場合には保証対象外となりますのでご了承下さい。
- ②保証期間内であっても次の様な場合には有償になります。
 - ・保証書の提示が無い場合又は保証記載内容に不備のある場合。
 - ・商品取扱上の誤り、不注意による故障及び損傷。
 - ・不当な修理及び改造による故障及び損傷。
 - ・事故による故障及び損傷。
 - ・自然災害による故障及び損傷。
 - ・消耗品の交換(付属部品等)
 - ・保証書にお買い上げ年月日、販売店名などの所定の記入事項のない場合。又は文字を書き換えられた場合。
 - ・故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
- ③保証規定は日本国内において国産車取り付け時のみ有効です。(This warranty is valid only in japan.)
- ④ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店又は弊社にお問い合わせ下さい。